



平成 21 年 7 月 22 日  
内 閣 府  
政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)

## 『先端的研究を推進して実現してほしいこと』に関する ご意見募集」の集計結果について

『先端的研究を推進して実現してほしいこと』に関するご意見募集」の集計結果について、以下の通りとりまとめましたので、お知らせいたします。

平成 21 年度一般会計補正予算に基づき実施される「最先端研究開発支援プログラム」について、その推進に当たって参考とさせていただくために、本年 6 月 12 日から 7 月 12 日の約 1 ヶ月間、内閣府ホームページにおいて「先端的研究を推進して実現してほしいこと」として、将来の我が国において、科学技術の発展により実現してほしいことや、実現すると期待していることについて、国民の皆様からご意見を募集しました。

いただいた有効回答数 911 件のご意見についての集計結果を、本日(7月22日)開催の第2回最先端研究開発支援ワーキングチームにおいて参考資料として配布することとしましたので、お知らせします。

### <配布資料>

- 『先端的研究を推進して実現してほしいこと』に関するご意見募集」の集計結果について

### (連絡先)

内閣府最先端研究開発支援プログラム担当室 吉田、小林、藤沼  
電話：03-3581-5525 (直通)  
FAX：03-3581-9790

『先端的研究を推進して実現してほしいこと』に関するご意見募集」の集計結果について

平成21年7月22日

内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)

1. 標記について、集計結果は以下のようになった。

(募集期間：平成21年6月12日～7月12日 募集方法：内閣府HPによる)

〔 有効応募数：606人  
有効意見数：911件 (一人当たり平均意見：1.5件) (別添「参考」参照) 〕

2. 分野別で見ると、意見概要としては次のようなものとなった。

- (1) 「医療・健康・介護」が315件(全体の約35%)で最も多かった。特に癌治療に関する意見が55件と多く、次いでiPS細胞やES細胞等を利用した再生医療の実用化や普及が47件あった。痴呆症やアルツハイマーの治療(24件)、うつ病等精神疾患の治療(23件)、パーキンソン症候群の治療(17件)の確立や普及を求める意見も比較的多数あった。
- (2) 次に「環境・エネルギー」が261件(約29%)あった。資源対策や地球温暖化対策のための太陽光やバイオ技術を利用した新エネルギー等への転換について述べる意見が132件と同分野の半分以上を占めた。
- (3) 3番目は「交通・通信」の98件(約11%)で、交通事故防止や交通事故死をゼロにするための自動車開発やインフラ整備についての意見(26件)が目立った。
- (4) 次いで「食・食品」(61件(約7%))ではバイオ技術向上による食料の増産技術の推進(22件)についての意見が多かった。
- (5) 「安全・安心」(55件(約6%))では地震予知の実現や耐震化の進展等地震への防災技術向上等について、「豊かな暮らし・子育て」(24件(約3%))では立体テレビ等ディスプレイ技術向上による余暇充実についての意見(7件)等があった。
- (6) 「その他」(97件(約9%))では、有人宇宙ロケットの開発や宇宙エレベーターの建設、宇宙起源の解明等、宇宙に関すること(31件)が目立った。

3. 各分野の主な意見と具体的な例は次のとおり。

【 医療・健康・介護 (315件) 】

○ 癌治療の確立や普及(55件)

- (例) ・重粒子線癌治療の普及。治療後の生活に影響のない治療方法として普及。
- ・10年後にはほとんどの種類の癌が治らなっている。

○ 再生医療の実用化(47件)

- (例) ・iPS細胞は難病治療や再生医療に役立つ。多くの人を救うことができる。
- ・10年後に日本の再生医療技術で運動機能改善手術が可能になる。

○ 痴呆症やアルツハイマーの治療の確立と普及(24件)

- (例) ・5年以内にアルツハイマーの治療薬が開発される。
- うつ病等精神疾患の治療の確立と普及(23件)
  - (例) ・10年後、総合失調症等の精神疾患の効果的治療法が普及。
- パーキンソン症候群の治療の確立と普及(17件)
  - (例) ・数年以内に進行性核上性麻痺等パーキンソン関連疾患の治療方法が確立。

【 環境・エネルギー(261件) 】

- 資源対策や地球温暖化対策のための新エネルギーへの転換(132件)
  - (例) ・2030年までにメタンハイドレード等で日本が消費するエネルギーを国産化。
    - ・二酸化炭素を出さない水素を利用した社会が実現する。
    - ・10年後に人工的に光合成を可能し、エネルギーとして利用。
- 安全な原子力発電の技術の確立や核融合による発電の実用化(27件)

【 交通・通信(98件) 】

- 交通事故防止や交通事故ゼロにする自動車等の開発(26件)
  - (例) ・自動車が互いに交信し衝突しないシステムが開発される。
- インターネット充実や技術向上(11件)
- 多言語対応型の高性能翻訳機の普及やそれを利用した通信システムの整備(7件)

【 食・食品(61件) 】

- 食料の増産技術の推進(22件)
  - (例) ・20年後日本の食料自給率を100%以上とする農業・漁業技術が実現。
    - ・砂漠で食料を栽培する技術の実用化し普及する。
- 食品の安全性を高める技術の向上(14件)

【 安全・安心(55件) 】

- 地震予知の実現や耐震化の進展等、地震対策・防災技術の飛躍的向上(16件)
- 防犯カメラ性能向上等による防犯や犯罪抑止のための技術の向上(6件)

【 豊かな暮らし(24件) 】

- 立体テレビ等ディスプレイ技術向上(7件)
- 家事等日常生活でロボットを利用(3件)

【 その他(97件) 】

- 有人宇宙ロケット開発や宇宙エレベーターの建設、宇宙の解明等、宇宙に関すること(31件)
  - (例) ・20年後に月面に基地を建設し資源調査等を行う。
- 軽量化や省エネにつながる金属等の新素材等の開発(13件)
- 常時閲覧可能な図書館の電子情報化(5件)

(参考) 意見募集結果データ

〔 有効応募数：606人  
有効意見数：911件 (一人当たり平均意見：1.5件) 〕

● 606人の年齢別内訳

10歳未満	1人
10歳以上～20歳未満	9人
20歳以上～30歳未満	75人
30歳以上～40歳未満	155人
40歳以上～50歳未満	150人
50歳以上～60歳未満	118人
60歳以上～70歳未満	72人
70歳以上～	26人

● 606人の性別

男性	474人	(78%)
女性	132人	(22%)

● 606人の職業別

会社員	219人
研究者	105人
主婦	59人
学生	51人
会社役員	27人
自営業	24人
公務員	23人
その他	98人

● 606人の都道府県別応募上位

①東京都	125人
②神奈川県	83人
③千葉県	59人
④兵庫県	42人
⑤京都府	30人

● 911件の分野別意見数

○医療・健康・介護	315件
○環境・エネルギー	261件
○交通・通信	98件
○食・食品	61件
○安全・安心	55件
○豊かな暮らし・子育て	24件
○その他	97件